

[トップページ](#)[暮らしの情報](#)[町政情報](#)[観光・特産](#)[施設ガイド](#)[トップ](#) [町政情報](#) [町長のページ](#)

大野町長のあいさつ

[2016年10月1日]

大野町のさらなる飛躍をめざして！

大野町長のあいさつ
大野のまちに新しい風を！

「郷土の先人 野村洋三をご存知ですか」

平成28年10月1日

9月の17日(土)大野町の総合町民センターの多目的ホールで、「郷土の先人 野村洋三を知ろう」と題して講演会が開催されました。講演会では、村上義紀氏(前早稲田大学副総長)、野村弘光氏(野村洋三のお孫さん)、所 功氏(京都産業大学名誉教授)からそれぞれとても興味深いお話が拝聴できました。

野村洋三翁(幼名梅太郎)は、明治3年美濃国大野郡公郷村(現在の**大野町公郷**)に生まれました。明治20年東京専門学校(早稲田大学の前身)卒業後に渡米。帰りの船中で新渡戸稲造に出会い「君は経済活動で太平洋の架け橋になりなさい。」と諭され、帰国後明治28年に「サムライ商会」を設立。その後は仕事を通じた知遇を、日本の政財官界と世界の政財官との橋渡し役として活躍しました。

大正12年の関東大震災では、同郷出身者の原三溪とともに横浜の復興に尽力しました。その後、ホテルニューグランドの役員となり、昭和13年には会長に就任。あだ名は**ミスターシェイクハンド**、**毎朝ホテル**の宿泊客に挨拶しながら握手し、港の周辺を散歩する姿は横浜の人なら知らない人はいない程の人物だったそうです。

戦後は、横浜商工会議所会頭や横浜日米協会会長などを歴任。横浜の経済、文化発展に尽力して、昭和40年95才の生涯を閉じました。

こんな素晴らしい野村洋三翁の偉業と人となりを顕彰し、人づくりやまちづくりに寄与できればとの思いで、野村洋三顕彰会準備委員会が設立されました。

大野町においては、まだまだ野村洋三翁についてあまり知られていません。洋三を知り、洋三に学びたいと思います。そして大野町としてもこの活動を支援していきたいと考えています。

お問い合わせ

大野町役場総務課

電話: 0585-34-1111 ファックス: 0585-34-2110

[お問い合わせフォーム](#)[アクセシビリティガイドライン](#)[ページの先頭へ](#)

〒501-0592 岐阜県揖斐郡大野町大字大野80番地

大野町役場 TEL:0585-34-1111

開庁時間 午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日・年末・年始を除く)

Copyright (C) Ono Town. All Rights Reserved.

町の花：つつじ
町の花：バラ
町の木：もみぢ